

## 第1項 豊能二次医療圏内の医療体制の現状と課題

### 2. 疾病・事業別の医療体制と受療状況

#### (1) 医療体制

##### 【精神疾患】

- 地域連携拠点医療機関については、多様な精神疾患に対応するために、疾患ごとに定めており、統合失調症は14施設、認知症は11施設、うつ病は1施設となっています。
- 身体・精神合併症患者対応可能な病院は、2施設（三次告示医療機関）あります。
- 自損患者の応需率は、29.1%（2015年上半期）から46.9%（2017年上半期）と改善されてきています（豊中市保健所調べ）。

## 第2項 豊能二次医療圏における今後の取組（方向性）

○本項では計画中間年（2020年度）までの取組について記載しています。

#### (3) 地域における課題への対策

##### 【精神疾患】

- ・身体・精神合併症患者の受入れ体制について、2015年度より開始された大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況と、ORION分析システムからみるデータとともに経過を確認していき、課題整理します。
- ・統合失調症、認知症、依存症等、多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。



<改訂案>

- ・身体・精神合併症患者の受入れ体制について、大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況等を踏まえ、課題を整理するとともに、連携強化などの支援方策を検討します。
- ・統合失調症、認知症、依存症等、多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。